

外国人材受入れ事例

菅谷 拓夫
所在地 : 真岡市
従業員数 : 24名

とちぎ外国人材活用促進協議会

外国人の受入状況 2020年11月現在

- 特定技能1号のベトナム7名を受入れ中 (2019年12月から受入れ開始)
- 技能実習生のベトナム人3名を受入れ中 (2019年2月から受入れ開始)

外国人受入れの目的・理由

- ・ハローワークで日本人を募集したが、年配の方の応募が多く、若手を確保することができなかつたため、外国人を受け入れることにした。

外国人の担う業務

- ・技能実習生は農作物の選別・箱詰め、出荷調整を主に担当。
- ・特定技能外国人の男性は、主に農作物の管理をはじめ、除草等の圃場管理を担当し、女性は選別等の内業を担当。



受入農家の声

- ・日本人従業員が少なく、点在している畑の仕事は車の運転が可能な日本人が担うことが多いことから、選別や出荷調整といった内業は外国人従業員の存在なしでは成り立たず、貴重で不可欠な存在となっている。

受入れや定着を進めるにあたっての工夫

- ・毎朝、その日取り組む作業について、全従業員を集めてミーティングを行っている。この際、日本人も外国人も分け隔て無く、それぞれの顔を見ながら話すようにしている。
- ・現場の作業において、日本人と外国人をペアで組ませて、日本語でのコミュニケーションを図るほか、休憩時間に皆で雑談する機会を設け、交流を図っている。
- ・会社としては、仕事とプライベートで関わり方を線引きするようにしているが、従業員同士の交流はあるようで、ご飯を食べに行くなど仲が良い。

外国人本人の声

- ・日本の技術を学び、お金を稼ぐために来日を決めた。子供をベトナムに残してきたので、すぐにでも帰国したいが、頑張っている。ベトナム人の旦那が他県で働いていることもあり、制度上、難しいことは分かっているが、本心としては、日本で子供を育てながら、このまま働きたいと思っている。
- ・日本人は真面目で熱心だし、優しく接してくれる。以前、社長がひたちなか海浜公園に連れて行ってってくれて嬉しかった。
- ・日本語は毎日YouTubeと本を使い勉強しているが、ひらがな、カタカナ、漢字があつて難しいと感じている。
- ・休日はスマートフォンで家族や友人と連絡を取ったり、新型コロナウイルスの感染拡大前は、バスに乗って遊びに行ったりした。

